

宇都宮市立海道小学校第6学年児童質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○質問数70問の中で、肯定的回答率が100%の質問は次の7つである。

「友だちと話し合うとき、友だちの話や意見を最後まで聞くことができますか」「学校で、好きな授業がありますか」

「あなたの学級では、学級会などに時間に友達同士で話し合って学級のきまりなどを決めていると思いますか」

「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」

「国語の勉強は大切だと思いますか」「算数の勉強は大切だと思いますか」

今後とも、「話を聞く」という基本的な学習習慣を定着させるとともに、学級活動等の授業において、集団で意思決定する自治的な活動を行う。また、一人一人を認め伸ばす指導、規範意識の醸成、学習する意義の理解に努めていく。

○ 質問数70問の中で、肯定的回答率が全国を上回るものは58問であり、その中でも全国と比べて20ポイント以上、上回る質問は次の5つである。

「家で、学習の授業の予習をしていますか」「家で、学習の授業の復習をしていますか」

「家で、予習、復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか」

「学級会などの話し合い活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか」

「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」

今後とも、家庭と連携し、家庭学習を習慣化するとともに、話し合い活動や調べ学習を充実し、自主的、主体的な学習態度を育成する。

● 質問数70問の中で、肯定的回答率が全国を下回るものは12問であり、全国を10ポイント以上、下回るものはない。

(注)ここでの質問数70問は、全質問数85問の中で、肯定的または否定的に回答するもの

○ 本校の「学力アッププロジェクト」で定めている家庭での学習時間について、普段(月～金曜日)1時間以上勉強している児童は94.6%で、全国平均を32.1ポイント上回る。引き続き、宿題、自主学習を毎日与え、学習時間を確保する。

○ 携帯電話やスマートフォンの使用の質問においては、持っていないと答えた児童の割合が45.9%で、全国と比べて7ポイント上回る。また、「普段、1日当たりどのくらいの時間テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか」の質問で、使用時間が3時間以下と答えた児童が全国と比べて10ポイント以上、上回る。

● 「学校の授業以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」という質問で「全くしない」と答えた児童が29.7%おり、全国と比べて9.1ポイント上回る。朝の読書の時間や授業で読書することの楽しさを味わわせたり、家庭と連携した指導を工夫したりして読書への関心を高めさせていく。